

【児童通所支援事業所 さくらんぼ：放課後等デイサービス 自己評価 集計結果】

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	○		・療育やテーブル（椅子）は利用人数によって足りない時間帯があるが、場所の変更をするなど工夫して使用している。 ・日によって足りない日がある。待つことも療育のひとつとしているが、場所を変更することで集中できない児童もいる為、工夫が必要である。
	2 職員の配置数は適切であるか	○	○	○	・配置数としては適正だが、長期休み中はサービス提供時間が長い為、足りないと感じることがある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・1階にあり、フロアもフラットである。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○	○		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・年に1回実施している。
	6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページ上で公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・ISO外部監査を受審している。・市の監査やISO監査。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・各職員の力量等に合わせた研修に参加している。コロナ禍にて数は少ない。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・事業所独自のアセスメントシートを使用している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・担当制で行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	○		・活動プログラムが固定化しないよう、意図的に全体を把握し、検討していく。・月ごとに製作やレクリエーションを行っている。・製作活動等行事をしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め、穏やかに設定して支援しているか	○	○		・職員配置、活動等に配慮している。 ・休日は家庭にて利用者は過ごしている。
	14 子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○		
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	○		・朝礼等で注意喚起、申し送りを行っている。・朝礼時確認、ミーティングでスケジュールを確認。
	16 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○	○		
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		○	
	20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	○		
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○	○	○	・学校への送迎時に確認しているが、保護者から教えていただくこともある。・必要に応じて行っている。送迎時先生より申し送り。
	22 医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか	○	○		・医師からの指示書あり。・主治医意見書を基にケアしている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有を相互理解に努めているか	○	○		・卒園前に見学に行き、情報共有をし支援に役立てている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		○	・同法人（ライフステップ）に向け情報共有している。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	○	○	・主催の研修に参加している。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子供と活動する機会があるか	○	○	○	・夏休みに中高生ボランティアが来所し交流していたが、今年度は新型コロナウイルスの感染で、受け入れることが出来なかった。 ・相手側（児童クラブ等）の理解が必要であり、頻りに交流するには準備と時間を要するため、慎重に進める必要がある。・コロナ禍の中難しいと思う。・コロナ対策で行わず。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○	○	○	・児童発達支援連絡協議会、放課後等デイサービス連絡協議会に定期的に参加している。
	28 日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳を活用したり、送迎時にフィードバックし共通理解に努めている。
29 保護者に対処力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○	○	・職員がペアレント・トレーニングの研修を受けている。・講座のお知らせをしている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	○	○	・契約時に説明を行い、同意を頂いている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	○		・年2回の面談の他、必要があれば随時相談、面談に応じる機会を設けている。 ・日々の連絡帳、送迎時の申し送り。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○	○	・今年度は新型コロナウイルスの関係で、開催することが出来なかった。 ・現在コロナで実施していない。
	33	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	○		・苦情に関する体制が整っている。
	34	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	○			・広報誌、ホームページ、事業所カレンダーで発信している。 ・ホームページにてお知らせしている。
	35	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			
	36	障がいのある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○	○	・利用者とその家族、地域住民が参加できる市民公開講座や介護フェス、秋まつり等を開催しているが、今年度は新型コロナウイルスの関係で、開催することが出来なかった。 ・コロナ禍にてお祭り行わず。 ・コロナ対策にて行わず。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・ISOを基本に、施設全体で策定している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・定期的に通報機器訓練を実施し、年2回総合防災訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止委員会があり、勉強会に参加し防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・該当する児童については、説明をしっかりと行い、同意をいただき写しを交付している。 ・契約時にどのような場合、場面が拘束とみなされ、同意をいただくことになるのかを全ての保護者に説明している。 ・適時説明と同意書にサインを頂いている。
	42	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	○	○	・アレルギーのある児童のおやつ用容器を個別化している。 ・保護者より申し出。 ・指示書はないが対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・施設全体でヒヤリハット、事故の内容、対応策を共有し、事故防止に努めている。